

瀬戸内海の多島美が望める野路山風景林

のろさん
広島森林管理署

瀬戸内海国立公園にあり、観光の名所として、また、市民の憩いの場として親しまれている野路山に隣接する野路山風景林（呉市野路山国有林）を紹介します。

野路山は、八二二年（弘仁三年）、弘法大師が野路山に登り、巨岩をくり抜いて作った堂宇の中で、厄除けの護摩を焚いて二一日間参籠したとも伝えられている大師堂があるなど信仰の対象となった霊峰です。



（写真上）野路山山頂を望む
（写真下）野路山風景林から望む瀬戸内海

頂上付近は、江戸時代後期には経済的に困窮する御家人や農民を救済するため、明治維新後は旧藩士達の救済政策の一つとして、終戦後は食糧難と海外引き揚げ者などによって開拓されましたが、幾多の困難に直面し下山者が多くなり荒廃した開墾地は国有林として造林が行われたことから、頂上付近は県・私有地でその下方に国有林が広がっています。

野路山頂上及び野路山風景林の

野路山ビジターセンター



展望台からは、紺碧の瀬戸の海、大小の島々、更に遠くには四国連峰を眼下に展望することができます。

昭和四三

年には、さざなみスカイラインが開通し、総合案内と交流施設の「野路山ビジターセンター」を始めとして、この地を中心に活動してきた画家の作品を展示している休憩所の「野路山レストハウス」、当地が筆づくりの町であることからその資料等を展示した「筆づくり資料館」、宿泊施設の「野路高原ロッジ」やキャンプ場、オートキャンプ場、テニス場、遊歩道等のスポーツ施設が整備されています。

春の桜、夏の緑、秋の紅葉期には四季折々の魅力を求めて四〇万人の観光客が訪れ自然を満喫しています。

また、野路山風景林付近は、眺望も優れていることから、複数企業の「法人の森」もあり、企業の社会貢献の場として活用され、各企

業が主催する林業体験の場には職員を技術指導や森林教室の講師などに派遣し協力を行っています。

毎年五月には地元、呉市外主催の山開き（一年間の安全祈願）の催しがあり、呉市・観光協会・地元企業等を含め多くの団体・市民が参加しています。当署も毎年参加し、花木の無料配布、木工クラフト作り、緑の募金、職員OBの協力による木工品の販売などイベントに側面から協力するなど市民から親しまれるとともに国有林のPRをしているところです。



木工クラフト作り

〒七三〇・〇八二二
広島市中区吉島東三・二一・五一
TEL 〇五〇・三一六〇・六一四五
FAX 〇八二・二四七・五八二二
<http://www.kinki.kokuyurin.go.jp/hiroshima>